

令和2年度 予算

令和2年度の一般会計当初予算額は527億7,600万円です。昨年度と比べて25億7,900万円(5.1%)増加し、過去最大規模となりました。災害復旧・復興に全力で取り組むとともに、「人口9万人の維持」「市民満足度の向上」を目標に掲げ、市民が「住み続けたい」と思える、そして未来を支える子どもたちが夢を抱き三原に帰りたい、三原で活躍したいと思うまちづくりを進めていきます。

と思うまちをめざして

令和2年度 一般会計当初予算

527億7,600万円

(前年度比プラス5.1%、

25億7,900万円増)



三原市長 天満祥典

最優先課題として取り組む災害復旧・復興についての予算を、昨年度から26億円増額し、約63億円としました。道路や河川、農地・農業用施設などの復旧を着実に進めます。

また、今年度は長期総合計画の後期基本計画や、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略、定住自立圏共生ビジョンのスタートの年でもあります。これらの計画などでは、将来のまちづくりに必要な対策を整理し、市の強みや特長を生かしたナンバーワン・オンリーワンづくりを意識して人口減少対策に取り組むこととしています。復旧・復興や地域活性化を推進するとともに、将来に向けた投資を行うことで、「元氣な三原」の実現をめざします。

問財政課

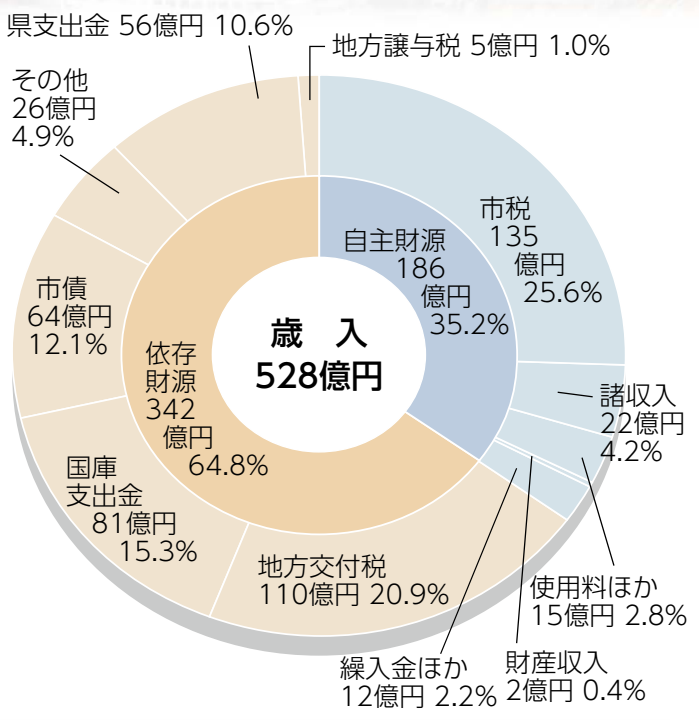
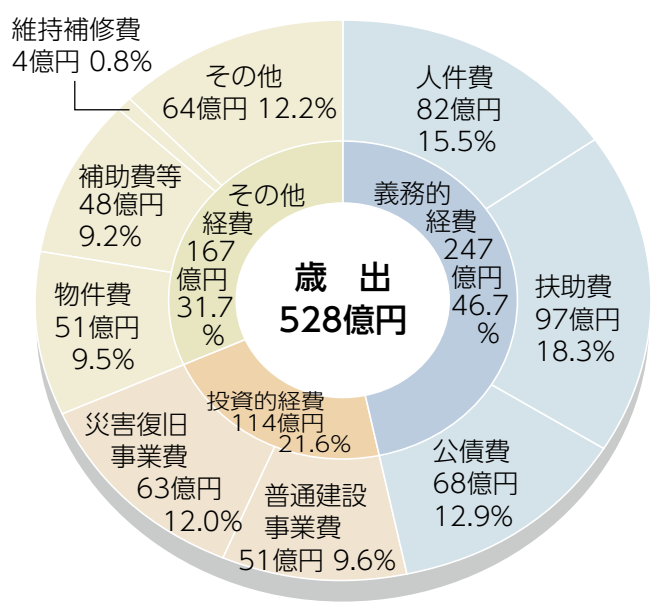
☎0848・67・6028

未来を支える子どもたちが夢を抱き 「三原に帰りたい、三原で活躍したい」



一般会計(歳出)

一般会計(歳入)



※その他は、積立金、出資金・貸付金、繰出金です。

※その他は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車税環境性割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金です。

新しい三原をつくる協働のまち

多様な産業と多彩な交流による活力あるまち

〔人権・男女共同参画〕

●大和人権文化センター耐震化事業

.....150万円

昭和55年に建築した大和人権文化センターの耐震診断を実施

〔元気な地域〕

●地域経営推進事業.....570万円

各地区の将来像や今後の取り組みを定めた「地域ビジョン」を策定した住民組織に活動費を交付



▲昨年度策定された高坂町・鷺浦町・和木地域の地域ビジョン(概要版)

●中山間地域コミュニティビジネス支援事業.....800万円

地域資源を活用した特産品づくりなど、中山間地域の住民組織が地域の活力を

引き出すためにビジネスを開始する場合に経費の一部を補助

●地域おこし協力隊活動支援事業

.....4,013万円

地域の活性化のため、住民組織などと連携して活動する地域おこし協力隊員9人を配置。任期後の定住などを目的に隊員4人の起業を支援



▲鷺浦町で活動する地域おこし協力隊員の松岡さくらさん(左)(写真は小佐木島でのイベントの様子)

●関係人口創出事業.....828万円

市外に住みながらも、継続的に市内の地域と多様な形で関わる人々(関係人口)を増やすため、地方に関心を持つ若者を対象に、市内での体験学習ツアーを市民と協働して開催

〔商工業・サービス業〕

●産業用地適地選定事業

.....300万円

工業用水が利用できる沿岸部を中心に新たな産業団地の候補地を調査

●企業情報パンフレット作成事業

.....150万円

市内企業を紹介する情報誌を作成し、就職活動を行う学生などを対象に情報を発信することで、市内企業への就職を促進

〔農林水産業〕

●6次産業化推進事業.....500万円

農産物やその加工品の販路を拡大するため、首都圏や海外での販売イベントに市内事業者などが出展する場合の費用の一部を補助

〔観光・交流〕

●観光DMC支援事業

.....1億3,792万円

景観や食など地元の観光資源を使った商品を開発・販売することを目的に設立された観光まちづくり会社「株式会社空道・港」の自立経営に向けた支援を実施し、地域が観光で稼げる取り組みを推進

●観光案内看板等整備事業・2,200万円

JR三原駅周辺や三原内港などの中心市街地の周遊性を高めるため、観光案内

内看板や電子看板(デジタルサイネージ)、多言語誘導サインを整備

●国際交流員活用事業.....511万円

(一財)自治体国際化協会が行う外国青年招致事業を活用し、市の国際化をサポートする国際交流員を任用。国際交流事業や多文化共生事業を推進

〔交流・連携基盤〕

●街路樹維持管理事業.....1,000万円

市内43路線の街路樹の維持管理や更新についての計画を策定

●魅力あるまちなみづくり事業

.....160万円

本町西国街道地区のまちなみづくりについて、昨年度のワークショップでまとめた提案書を基に、ガイドラインを策定



▲ワークショップで作成した本町通りの将来イメージのイラスト

健康

やかに暮らせる人に優しいまち

【子ども・子育て】

●子ども居場所づくり事業

2億7,487万円

新たに2カ所の放課後児童クラブを開設。全てのクラブで小学6年生までを受け入れ

●児童虐待防止事業

1,002万円

子ども家庭支援員や虐待対応専門員を配置する「子ども家庭総合支援拠点」を設置

●児童館運営事業

2,852万円

児童館をペアシティ三原西館2階に移転し開設。中高生の利用を促進するため無料Wi-Fiや学習スペースなどを整備



▲さまざまなイベントを開催し子どもたちが集まる児童館

●不妊検査費等補助事業

928万円

不妊に加え不育症の検査や治療にかかる費用を30万円まで補助

【健康・医療】

●風しん抗体検査・予防接種事業

2,308万円

抗体検査を受けていない、または抗体価が低い人への予防接種を実施。妊娠を希望する抗体がない人とその家族に予防接種費の全額を補助

【福祉・介護】

●認知症スクリーニングアプリ導入事業

10万円

インターネットで簡単に認知症の自己チェックができるアプリを導入

●GPS機器購入補助事業

20万円

認知症の高齢者などを介護している家族を対象に、所在確認用のGPS機器購入費の一部を補助

●生活困窮世帯学習支援事業

268万円

県立広島大学三原キャンパスの学生ボランティアに加え、今年度から教職経験者を支援員として配置し、ひとり親世帯などの子どもの学習を支援。本郷地域では委託事業者による学習支援を開始

地域

地域の文化と多様な人材を育むまち

【教育】

●学習分析事業

1,192万円

児童生徒の基本的な学習内容の定着度と学習意欲などを把握することで、教員の指導方法を改善し、学力向上を推進

●学校教育情報環境整備事業

12億850万円

全小中学校の校内LAN高速大容量化工事を実施し、学習者用情報端末約2,600台を整備

※昨年度の2月補正予算で計上し、今年度



▲全小中学校のICT環境を整備(写真はプログラミング授業の様子)

に実施。

【生涯学習、文化・スポーツ】

●文化芸術交流促進事業

300万円

みはら文化芸術財団の設立を記念し、市民参加型の文化イベントを芸術文化センターポポロのホールで開催

●リージョンプラザ長寿命化計画策定事業

700万円

昭和59年に建築した三原リージョンプラザの長寿命化計画を策定

●企画展覧会開催事業

423万円

「広島県ゆかりのアスリートたち―4年に1度の祭典―」と題し、県ゆかりのオリンピック選手を紹介する企画展や名誉市民池田敬子さんの講演会を開催

●東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業

571万円

東京オリンピック聖火リレーや東京パラリンピック聖火採火式を開催

計画の実現に向けて

【透明性の高い行政運営と情報発信】

●シティプロモーション推進事業

1,403万円

戦略的な情報発信に向けた外部アドバイザーを設置。三原市ならではの魅力や強み

をPRするためガイドブックを作成

【地域分権型社会に対応した行政経営】

●総合戦略調査事業

150万円

若年層の市外転出の要因などについて調査・分析し、今後の人口減少対策に反映